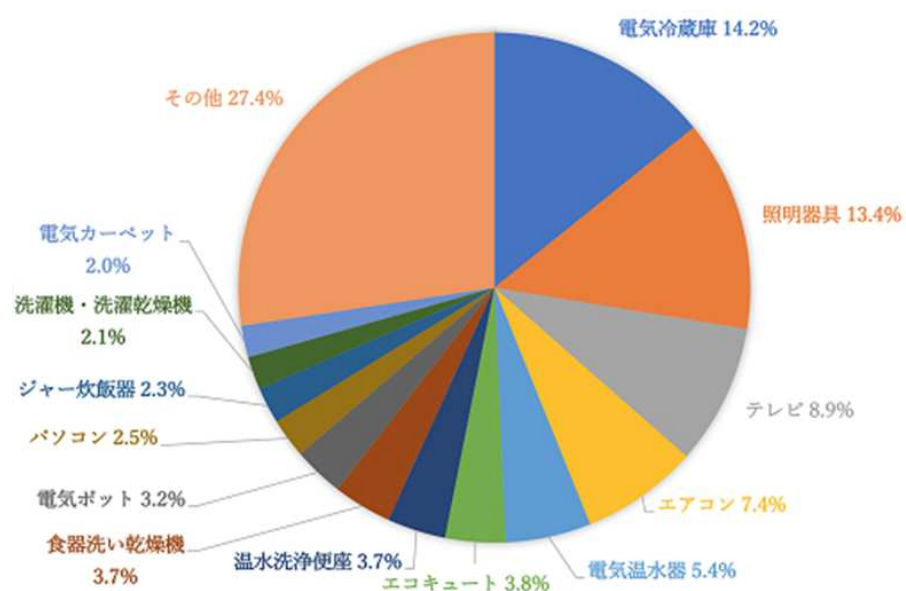


節電、節ガス、節水

電気代がかかる家電(経済産業省)



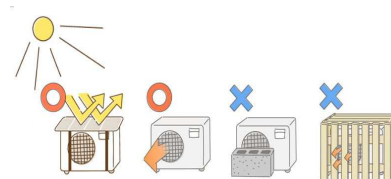
家庭で使われている電気の約4割が冷蔵庫、照明、テレビ、エアコンという4つの家電に使われています。

家電製品ごとの消費電力

家電製品名	100円での稼働時間	1時間使用での電気代
エアコン(冷房)	冷房時/約10時間	冷房時/約10円
エアコン(暖房)	暖房時/約5時間	暖房時/約20円
冷蔵庫	約100時間	約1円
照明(60Wの白熱電球)	約100時間	約1円
カラーテレビ	約50時間	約2円
全自動洗濯機	約50かい	約2円
衣類乾燥機	約1回	約70円
掃除機	約5時間	約20円
炊飯器	約100時間	約1円
電気こたつ	約30時間	約3円

エアコンの電気代を節約

- ①フィルターを掃除する
- ②室外機にカバーをかける
- ③設定を「弱」ではなく自動にする
エアコンは、「弱」よりも「自動」にした方が、電気代の節約になります。何故かという、設定温度に達したときに、弱風よりもさらに弱い、「微風」に切り替えてくれるからです。
- ④エアコンの設定温度を1度見直すと、冷房なら13%、暖房なら10%の節電になると言われています。
- ⑤エアコンの買替です。10年前と比べると約17%の消費電力が減っています。金額にしてざっくり4,000円/年強です



冷蔵庫の電気代を節約

- ①スイッチを「強」から「弱」にするだけで約20%の電気代節約をすることができます。しかし、夏場は外気からの熱で食材が傷んでしまわないように、「強」のままにしておくことがおすすめです。
- ②食材を詰め込みすぎている冷蔵庫は、そうでない冷蔵庫に比べ、電気代が一年間あたり5000円を上回ることもあります。冷蔵庫内はスペースに余裕を持って食材を入れ、開閉の数も少なくすると電気代の節約になる。
- ③冷凍室はびっしりと詰めておいた方がよいです。逆に冷凍室に隙間があると、電気代がかかってしまいます
- ④冷蔵庫を壁に近付けないということも重要です。側面と壁との間は2cm以上、背面は10cm以上、天井との間は10cm以上スペースを開けることをおすすめします。スペースに注意することで、約20%の電気代節約につながります。
- ⑤お金はかかりますが冷蔵庫の買替です。10年前の3分の1まで消費電力が減っているといわれています。金額にしてざっくり6,000円/年前後です。



待機消費電力を節約

コンセントに繋がっているだけで流れる微量の電気のことを待機電力といいます。電気料金の10%は待機電力です。数個のコンセントをまとめてON・OFFできる、「節電タ



ップ”という便利グッズもホームセンターなどで購入することができますので、利用するのも一つの手です。

10年前の家電製品と比べてどれだけおトク?

例えば、2010年と2020年の製品では、年間消費電力量や機能が大きく異なります。1kWhあたりの電気代を27円と仮定し計算。

エアコン

今どきの省エネタイプのエアコンは10年前と比べると約17%の省エネで、年間の電気代で約4,509円/年もおトクです。

冷蔵庫

今どきの冷蔵庫は10年前と比べると約40~47%の省エネで、約6,000円/年前後もおトクです。

照明器具

電球形LEDランプは一般電球と比べると約86%の省エネで、約2,500円/年もおトクです。



テレビ

今どきのテレビは9年前と比べると約42%の省エネで、約1,600円/年おトクです。(出典:資源エネルギー庁「機器の買換で省エネ節約」)

お風呂でガス節約

- ①浴槽のお湯を少なめにする
- ②浴槽にフタをする
- ③お風呂の設定温度を下げる。
- ④シャワーはこまめに止める。さらに節水シャワーを使う。約40%の節水をすることもできます。
- ⑤入浴中は、お風呂の間は換気扇を止める
- ⑥間隔を開けずに入浴する。2時間放置して温度が下がった200Lのお湯を追い焚きした場合と比べて、追い焚きをしない場合は年間で約6,000円/年の節約になります。



トイレでの水道代節約方法

レバーの大・小を使い分ける。大のレバーと小のレバーをキッチリ使い分ける。その他には、節水型トイレに交換するというのも一つの手です。最近の節水型トイレは、水の使用量が格段に少ないので、従来品の1/3程度の水量で流すことができます。(みんなのでんき、スミレナ(東京ガスグループ)、カルモマガジンなどHP参照)